

## コロンビア月例報告（7月分）

### 外政・内政状況

2011年8月

コロンビア日本大使館

#### I 概要

##### 【外政】

- 2日 カリコム首脳会合へのサントス大統領の参加
- 5～22日 オルギン外相の外遊（往電第931号）
- 6～7日 天野 IAEA 事務局長のコロンビア訪問
- 26日 サーベドラ米州人権裁判所事務局長のコロンビア訪問
- 28日 ペルー大統領就任式へのサントス大統領の参加

##### 【内政】

- 4日 ボゴタ市長立候補者の支持率状況
- 14日 地方選挙に伴うリスク・マップの発表（選挙概要につき、往電第962号）
- 20日 2011～2012年国会の開会（往電第944号）
- 26日 同性婚についての最高裁判決

#### II 外政

##### 1 カリコム首脳会合へのサントス大統領の参加

2日、サントス大統領は、セント・キッツ・アンド・ネービスで行われたカリコム首脳会合に出席（オルギン外相同行）。同大統領は、ハイチのような支援を必要とする国に対し、地域として協力を強化すべきであると述べた。また、カリブ地域の治安・麻薬対策について、コロンビアの知見を共有し、貢献したいと述べた。

##### 2 オルギン外相の外遊

オルギン外相は、大統領の外遊（5日：セント・キッツ・アンド・ネービス、22日：ペルー）に同行したほか、下記の通り精力的な外遊をこなした。

5日、ベネズエラの独立200周年式典に出席。

12日、国連安保理において、児童と武力紛争に関する安保理公開討論に参加。

13日、英国を訪問。両外相は、環境問題、通商関係、鉱山開発、安保理改革等につき意見交換を行なった。ヘーグ外相は、犠牲者法の成立を例にあげつつ、コロンビアにおいて、人権の保護が進展していることを評価した。

14日、ポルトガルを訪問、コエーリョ首相、ポルトス外相と会談を行なった他、ポル

トガル産業界との意見交換を行なった。ポルトガル産業界からは、インフラ、再生可能エネルギー、スーパー・チェーン店、観光に関心が示された。

20日、エクアドルを訪問、同国のコロンビア大使館において、コロンビア独立記念日式典に参加。

22日、ペルーを訪問、ペルー、チリ、エクアドル、ボリビアと、アンデス電力統合市場につき意見交換。

### 3 天野 IAEA 事務局長のコロンビア訪問

6～7日、天野 IAEA 事務局長がコロンビアを訪問、ロンドーニョ外務次官とシリア、イラン及び北朝鮮情勢につき意見交換を行ったほか、ナランホ国家警察庁長官と核の安全問題について意見交換を行った。

### 4 サーベドラ米州人権裁判所事務局長のコロンビア訪問

26日、サーベドラ米州人権裁判所事務局長のコロンビアを訪問、8月22日～9月2日までボゴタにおいて開催される第92回審議についての説明を行った。同審議では、チリ人、アルゼンチン人、ブラジル人各1名に対する裁判が行われる。

### 5 ペルー大統領就任式へのサントス大統領の参加

28日、サントス大統領は、ウマラ新大統領就任式のためペルーを訪問（オルギン外相同行）した。また同日、リマで開催された南米諸国連合（UNASUR）臨時首脳会議及び第18回アンデス共同体（CAN）首脳会合に出席した。アンデス共同体（CAN）議長国は、ボリビアからコロンビアに交替。

## III 内政

### 1 ボゴタ市長立候補者の支持率状況

4日、シフラス・イ・コンセプト社は、ボゴタ市長選挙（10月30日）の立候補者の支持率状況を発表。ペトロ候補（進歩運動党）が15.4%、ペニャロサ候補（緑の党）が14.6%とリードしており、パロディ候補、ガラン候補（急進改革党）らがそれぞれ数%の支持で拮抗。

### 2 地方選挙に関する治安状況についての発表

14日、国防省は、10月30日に実施される当国地方選挙（県知事、市町村長、県及び市議会議員）を前に、リスク・マップを発表した。暴力行為により、投票過程が特にリスクに晒されている地域として、アラウカ県（アラウカ）、ウイラ県（ネイバ）、メタ県（ビジャビセンシオ、アラシアス、プエルト・ガイタン、カスティージャ・ラ・ネイバ）、カサナレ県（アグアスル）、スクレ県（トル）、アンティオキア県（ヨンド）が挙げられている。

### 3 2011～2012年国会の開会

20日、2011～2012年国会の開会式において、サントス大統領は、1年間の政権運営を振り返り、治安問題では今後も努力が必要としつつも、犠牲者・土地返還法の実現など様々な課題について、成果を上げたと述べた。また、演説の中で、サントス大統領は、連立与党に、緑の党が参加することを発表した（緑の党は、同日、連立与党に参画する旨発表、両議院において268席中8席を占めている）。またサントス大統領は、新たな両院議長（ファン・マヌエル・コルソ・ロマン上院議長及びシモン・ガビリア・ヌニョス下院議長）を選出した。

### 4 同性婚についての最高裁判決

26日、最高裁判所は、結婚は「男性と女性による結婚」であるとの1887年からの定義が有効との見解を示しつつ、同性カップルに対する差別が存在する点に言及し、国会に対し、同性カップルに対する対応を検討するよう勧告した。2007年以降、2年以上の共同生活を行っている同性カップルは、公証人の立ち会いの下で自由婚（union libre）を行うことができ、社会保障、年金、相続等の権利が認められている。

（了）